

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-194745

(43)公開日 平成8年(1996)7月30日

(51)Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/60

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 15/ 21

Z

審査請求 有 請求項の数6 F D (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平7-21049

(22)出願日 平成7年(1995)1月13日

(71)出願人 000233538

日立東北ソフトウェア株式会社

宮城県仙台市青葉区一番町2丁目4番1号

(72)発明者 宮崎 淳子

宮城県仙台市青葉区一番町2丁目4番1号

日立東北ソフトウェア株式会社内

(72)発明者 佐藤 純也

宮城県仙台市青葉区一番町2丁目4番1号

日立東北ソフトウェア株式会社内

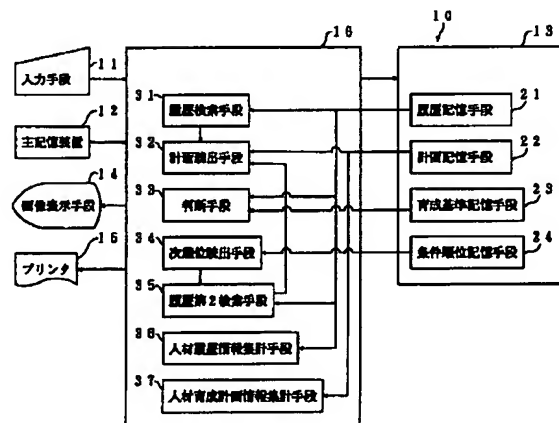
(74)代理人 弁理士 須田 篤

(54)【発明の名称】 人材情報管理方法および人材情報管理システム

(57)【要約】

【目的】人材の履歴のレベルを考慮しつつ、人材育成計画を容易に立案できる。

【構成】人材履歴情報を入力し、記憶させる。人材履歴情報に対応させて人材育成計画情報を入力し、記憶させる。人材履歴情報の検索条件を入力する。検索条件に基づいて人材履歴情報を検索する。検索により得た人材履歴情報に対応する人材育成計画情報を読み出す。人材育成基準情報を入力し、記憶させる。人材履歴情報のうち実績情報を人材育成基準情報と比較して、基準を越えるか、同等か、基準未満かを判断する。判断結果を、検索により得た人材履歴情報および読み出した人材育成計画情報とともに画像表示手段に同時に画像表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】入力手段と、記憶手段と、画像表示手段と、これらの手段の制御装置とを用いて、前記入力手段に、実績情報を含む人材履歴情報を入力するステップと、
入力された人材履歴情報を前記記憶手段に記憶させるステップと、
前記入力手段に人材履歴情報に対応させて人材育成計画情報を入力するステップと、
入力された人材育成計画情報を前記記憶手段に記憶させるステップと、
前記入力手段に人材履歴情報の検索条件を入力するステップと、
前記制御装置で、入力された検索条件に基づいて、記憶した人材履歴情報を検索し、検索条件に対応する人材履歴情報を得るステップと、
前記制御装置で、検索により得られた人材履歴情報に対応する人材育成計画情報を前記記憶手段から読み出すステップと、
前記入力手段に人材育成基準情報を入力するステップと、
入力された人材育成基準情報を前記記憶手段に記憶させるステップと、
前記制御手段で、記憶した人材履歴情報のうち実績情報を、記憶した人材育成基準情報と比較して、比較した判断結果を得るステップと、
判断結果を、検索により得られた人材履歴情報および読み出された人材育成計画情報とともに前記画像表示手段に同時に画像表示するステップとを、
有することを特徴とする人材情報管理方法。

【請求項2】人材履歴情報の検索条件をグループごとに優先順位を付けて前記記憶手段に記憶させるステップと、
前記制御装置で、検索条件に対応する人材履歴情報が得られないとき、その検索条件の次の順位の検索条件を前記記憶手段から読み出すステップと、
前記制御装置で、読み出した次の順位の検索条件に基づいて、記憶した人材履歴情報を検索し、その検索条件に対応する人材履歴情報を得るステップとを、
有することを特徴とする請求項1記載の人材情報管理方法。

【請求項3】前記入力手段に人材履歴情報の集計条件を入力するステップと、
前記制御装置で、入力された人材履歴情報の集計条件に基づいて、記憶した人材履歴情報を集計し、集計結果を得るステップと、
前記入力手段に人材育成計画情報の集計条件を入力するステップと、
前記制御装置で、入力された人材育成計画情報の集計条件に基づいて、記憶した人材育成計画情報を集計し、集

計結果を得るステップと、

人材履歴情報の集計結果および人材育成計画情報の集計結果を前記画像表示手段に画像表示するステップとを、
有することを特徴とする請求項1または2記載の人材情報管理方法。

【請求項4】画像表示するステップは、検索により得られた人材履歴情報および読み出された人材育成計画情報を前記画像表示手段に図表化して同時に表示するステップから成ることを、

特徴とする請求項1、2または3記載の人材情報管理方法。

【請求項5】実績情報を含む人材履歴情報を入力するための履歴入力手段と、

入力された人材履歴情報を記憶する履歴記憶手段と、
人材履歴情報に対応させて人材育成計画情報を入力するための計画入力手段と、

入力された人材育成計画情報を記憶する計画記憶手段と、

人材履歴情報の検索条件を入力するための条件入力手段と、

前記条件入力手段から入力された検索条件に基づいて、前記履歴記憶手段に記憶される人材履歴情報を検索し、その検索条件に対応する人材履歴情報を得る履歴検索手段と、

前記履歴検索手段により得られた人材履歴情報に対応する人材育成計画情報を、前記計画記憶手段から読み出す計画読出手段と、

人材育成基準情報を入力するための育成基準入力手段と、

入力された人材育成基準情報を記憶する育成基準記憶手段と、

前記履歴記憶手段に記憶される人材履歴情報のうち実績情報を、前記育成基準記憶手段に記憶される人材育成基準情報と比較し、比較した判断結果を得る判断手段と、
前記判断手段の判断結果を、前記履歴検索手段により検索された履歴情報および前記計画読出手段により読み出された人材育成計画情報とともに同時に画像表示する画像表示手段とを、

有することを特徴とする人材情報管理システム。

【請求項6】人材履歴情報の検索条件をグループごとに優先順位を付けて記憶する条件順位記憶手段と、

前記履歴検索手段が検索条件に対応する人材履歴情報を得ないとき、その検索条件の次の順位の検索条件を前記条件順位記憶手段から読み出す次順位読出手段と、

前記次順位読出手段により読み出された検索条件に基づいて、前記履歴記憶手段に記憶される人材履歴情報を検索し、その検索条件に対応する人材履歴情報を得る履歴第2検索手段とを有し、

前記画像表示手段は、前記履歴第2検索手段により検索された履歴情報および前記計画読出手段により読み出さ

れた計画情報を同時に画像表示する構成を有することを、
特徴とする請求項5記載の人材情報管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、人材育成計画を立案するのに適した人材情報管理方法および人材情報管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、企業等で人材育成計画を立案する場合、一般には、人材の履歴情報、例えば、職歴、業務歴、教育歴、資格歴などを記載したファイルを見ながら、将来、どのような技術や資格を身に付けさせるか、計画が練られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、人材育成計画を立案する場合、人材の履歴情報のファイルを見ながら、その履歴が組織として要求されるどのレベルにあるかを考慮しつつ、人材育成計画を練るのは容易ではないという問題点があった。従来、人事考課に関しては、特開平6-124294号公報に示す技術があり、人事情報検索に関しては、特開平4-360272号公報に示す技術があるが、いずれも、人材育成計画を立案するのに用いることはできなかった。

【0004】本発明は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、人材の履歴が組織として要求されるどのレベルにあるかを考慮しつつ、人材育成計画を容易に立案することができる人材情報管理方法および人材情報管理システムを提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1の本発明に係る人材情報管理方法では、入力手段と、記憶手段と、画像表示手段と、これらの手段の制御装置とを用いて、前記入力手段に実績情報を含む人材履歴情報を入力するステップと、入力された人材履歴情報を前記記憶手段に記憶させるステップと、前記入力手段に人材履歴情報に対応させて人材育成計画情報を入力するステップと、入力された人材育成計画情報を前記記憶手段に記憶させるステップと、前記入力手段に人材履歴情報の検索条件を入力するステップと、前記制御装置で、入力された検索条件に基づいて、記憶した人材履歴情報を検索し、検索条件に対応する人材履歴情報を得るステップと、前記制御装置で、検索により得られた人材履歴情報に対応する人材育成計画情報を前記記憶手段から読み出すステップと、前記入力手段に人材育成基準情報を入力するステップと、入力された人材育成基準情報を前記記憶手段に記憶させるステップと、前記制御装置で、記憶した人材履歴情報のうち実績情報を、記憶した人材育成基準情報と比較して、比較した判断結果を得るステップと、判断結果を、検索により得られた人材

履歴情報および読み出された人材育成計画情報とともに前記画像表示手段に同時に画像表示するステップとを有することを特徴とする。

【0006】人材履歴情報とは、人材の履歴に関する情報であり、例えば、職歴、業務歴、教育歴、資格歴のほか、住所、氏名、所属組織名、生年月日、出身地、顔写真、趣味、その他、人材の属性に関する情報を含み、また、人材の実績情報、例えば、能力、技能、表彰数、資格レベル、特許数、受講成績、競技成績、その他、人材の比較可能な実績に関する情報を含む。

【0007】人材育成計画情報とは、今後、人材に身に付けさせたい技術や資格などに関する情報であり、例えば、今後、人材に要求される表彰数、資格レベル、特許数、受講成績、競技成績などの情報である。人材履歴情報の検索条件は、例えば、氏名や、所属組織名など、人材履歴情報の中から選択される。

【0008】人材育成基準情報とは、人材に要求される技術や資格などの到達基準または評価基準に関する情報であり、例えば、入社経過年数に応じて人材に要求される表彰数、資格レベル、特許数、受講成績、競技成績などの実績情報の到達基準を示す情報である。判断結果は、例えば、基準を越えるか、同等か、基準未満かの判断結果であり、例えば、色別、文字、その他、視覚的に認識されるいかなる方法で表示されてもよい。

【0009】請求項2の本発明に係る人材情報管理方法では、請求項1記載の人材情報管理方法において、人材履歴情報の検索条件をグループごとに優先順位を付けて前記記憶手段に記憶させるステップと、前記制御装置で、検索条件に対応する人材履歴情報が得られないとき、その検索条件の次の順位の検索条件を前記記憶手段から読み出すステップと、前記制御装置で、読み出した次の順位の検索条件に基づいて、記憶した人材履歴情報を検索し、その検索条件に対応する人材履歴情報を得るステップとを有することを特徴とする。

【0010】検索条件のグループは、類似する条件や関連する条件ごとにまとめられることが好ましい。例えば、検索条件のグループは、英語検定試験成績、TOEFL成績、外国留学経験年数などを1グループとしてまとめられる。検索条件の優先順位は、例えば、成績80点以上を第1位、成績70点以上を第2位、成績60点以上を第3位のように付ける。

【0011】請求項3の本発明に係る人材情報管理方法では、請求項1または2記載の人材情報管理方法において、前記入力手段に人材履歴情報の集計条件を入力するステップと、前記制御装置で、入力された人材履歴情報の集計条件に基づいて、記憶した人材履歴情報を集計し、集計結果を得るステップと、前記入力手段に人材育成計画情報の集計条件を入力するステップと、前記制御装置で、入力された人材育成計画情報の集計条件に基づいて、記憶した人材育成計画情報を集計し、集計結果を

得るステップと、人材履歴情報の集計結果および人材育成計画情報の集計結果を前記画像表示手段に画像表示するステップとを有することを特徴とする。

【0012】人材履歴情報の集計条件は、例えば、表彰数、資格レベル、特許数、受講成績、競技成績など、人材履歴情報の中から選択される。人材育成計画情報の集計条件は、例えば、今後、人材に要求される表彰数、資格レベル、特許数、受講成績、競技成績など、人材育成計画情報の中から選択される。人材履歴情報の集計条件を入力するステップと、人材育成計画情報の集計条件を入力するステップとは、同一ステップから成ってもよい。

【0013】請求項4の本発明に係る人材情報管理方法では、請求項1、2または3記載の人材情報管理方法において、画像表示するステップは、検索により得られた人材履歴情報および読み出された人材育成計画情報を前記画像表示手段に図表化して同時に表示するステップから成ることを特徴とする。

【0014】図表化には、例えば、マッピング表示、統計表示、グラフ表示、バランスチャート表示などによる図表化が含まれる。

【0015】請求項5の本発明に係る人材情報管理システムでは、実績情報を含む人材履歴情報を入力するための履歴入力手段と、入力された人材履歴情報を記憶する履歴記憶手段と、人材履歴情報に対応させて人材育成計画情報を入力するための計画入力手段と、入力された人材育成計画情報を記憶する計画記憶手段と、人材履歴情報の検索条件を入力するための条件入力手段と、前記条件入力手段から入力された検索条件に基づいて、前記履歴記憶手段に記憶される人材履歴情報を検索し、その検索条件に対応する人材履歴情報を得る履歴検索手段と、前記履歴検索手段により得られた人材履歴情報に対応する人材育成計画情報を、前記計画記憶手段から読み出す計画読出手段と、人材育成基準情報を入力するための育成基準入力手段と、入力された人材育成基準情報を記憶する育成基準記憶手段と、前記履歴記憶手段に記憶される人材履歴情報のうち実績情報を、前記育成基準記憶手段に記憶される人材育成基準情報と比較し、比較した判断結果を得る判断手段と、前記判断手段の判断結果を、前記履歴検索手段により検索された履歴情報および前記計画読出手段により読み出された人材育成計画情報とともに同時に画像表示する画像表示手段とを有することを特徴とする。

【0016】請求項6の本発明に係る人材情報管理システムでは、請求項5記載の人材情報管理システムにおいて、人材履歴情報の検索条件を類似する条件ごとに優先順位を付けて記憶する条件順位記憶手段と、前記履歴検索手段が検索条件に対応する人材履歴情報を得ないとき、その検索条件の次の順位の検索条件を前記条件順位記憶手段から読み出す次順位読出手段と、前記次順位読

出手段により読み出された検索条件に基づいて、前記履歴記憶手段に記憶される人材履歴情報を検索し、その検索条件に対応する人材履歴情報を得る履歴第2検索手段とを有し、前記画像表示手段は、前記履歴第2検索手段により検索された履歴情報および前記計画読出手段により読み出された計画情報を同時に画像表示する構成を有することを特徴とする。

【0017】

【作用】請求項1の本発明に係る人材情報管理方法および請求項5の本発明に係る人材情報管理システムでは、予め、人材履歴情報と人材育成計画情報と人材育成基準情報とを入力しておけば、表示したい人材履歴情報の検索条件を入力することにより、対応する人材履歴情報と人材育成計画情報とを同時に画像表示することができる。同時に、人材履歴情報のうち実績情報を人材育成基準情報と比較した判断結果を画像表示することができる。人材育成計画情報は、人材履歴情報と、その比較した判断結果を見ながら入力することができる。

【0018】請求項2の本発明に係る人材情報管理方法および請求項6の本発明に係る人材情報管理システムでは、予め、人材履歴情報の検索条件をグループごとに優先順位を付けて記憶させておく。表示したい人材履歴情報の検索条件を入力した場合、対応する人材履歴情報が得られないときには、その検索条件の次の順位の検索条件に対応する人材履歴情報と人材育成計画情報とを同時に画像表示することができる。

【0019】請求項3の本発明に係る人材情報管理方法では、表示したい人材履歴情報の集計条件および人材育成計画情報の集計条件を入力することにより、対応する人材履歴情報の集計結果および人材育成計画情報の集計結果を画像表示することができる。

【0020】請求項4の本発明に係る人材情報管理方法では、人材履歴情報および人材育成計画情報を図表化して同時に表示することができ、情報を把握しやすくなる。

【0021】

【実施例】以下、図面に基づき本発明の一実施例を説明する。図1～図8は、本発明の一実施例を示している。図1に示すように、計算機システム10は、入力手段11と、主記憶装置12と、外部記憶装置13と、画像表示手段14と、プリンタ15と、これらを制御する制御手段16とから成っている。入力手段11は、キーボードから成っている。主記憶装置12は、処理に必要な情報、基準、条件の展開と、各処理の結果を記憶するために用いられる。

【0022】外部記憶装置13は、情報、基準および処理結果を蓄積する。外部記憶装置13は、履歴記憶手段21と、計画記憶手段22と、育成基準記憶手段23と、条件順位記憶手段24とを有する。画像表示手段14およびプリンタ15は、処理の実行状況と処理結果の

表示とプリントアウトとに用いられる。

【0023】制御手段16は、履歴検索手段31と、計画読出手段32と、判断手段33と、次順位読出手段34と、履歴第2検索手段35と、人材履歴情報集計手段36と、人材育成計画情報集計手段37とを有する。制御手段16は、外部記憶装置13からの情報の読込、情報の選択、判断、集計、加工、統計作成、分析、マップ作成、シミュレーションなどを行うことができる。

【0024】人材情報管理は、以下のようにして行われる。図2のフローチャートに示すように、まず、入力手段11に人材履歴情報として、住所、氏名、所属組織名、生年月日、出身地、顔写真、趣味、職歴、業務歴、教育歴、資格歴、表彰数、資格レベル、特許数、受講成績、競技成績を入力する。表彰数、資格レベル、特許数、受講成績、競技成績は、実績情報であり、数値で入力される。また、入力手段11に人材育成基準情報として、入社経過年数、年齢および役職に応じて人材に要求される表彰数、資格レベル、特許数、受講成績、競技成績などの実績情報の到達基準に関する情報を入力する（ステップ101）。

【0025】入力手段11に人材履歴情報の検索条件をグループごとに優先順位を付けて入力する。人材履歴情報の検索条件は、例えば、氏名や、所属組織名、保有技術名などである。検索条件のグループは、英語能力、情報処理技術能力など、類似する条件や関連する条件ごとにまとめ、優先順位は、点数や資格級位に応じて付けることが好ましい。

【0026】入力手段11から入力された人材履歴情報、人材育成計画情報、人材育成基準情報および人材履歴情報の検索条件の優先順位は、それぞれ履歴記憶手段21、計画記憶手段22、育成基準記憶手段23、条件順位記憶手段24に記憶される（ステップ102）。

【0027】人材育成計画情報が未入力ならば、入力手段11に人材育成計画情報として、人材履歴情報に対応させて、今後、人材に要求される技術、資格、技能レベルを入力する（ステップ101）。人材育成計画情報の入力、は、予め、技術項目や、資格項目などを設定しておき、画面上にガイダンスメニューを表示させ、これらを選択することにより行えるようにするとよい。人材育成計画情報の入力、は、個人別、年度別に入力するとよい。

【0028】人材育成計画情報は、5年間の長期計画について入力した後、1年間の短期計画について入力し、次に、組織別人材育成計画について入力する。短期計画は、計画したい年度を入力すると、先に蓄積された長期計画より該当する年度の人材育成計画情報が選択され、画像表示手段14の画面に表示されるようにする。例えば、短期計画は、計画推進の具体策を文字入力することにより行う。組織別人材育成計画とは、組織全体の保有技術に関する計画であり、例えば、年度別で各技術ごとの資格者の計画人数で示される。

【0029】人材育成計画情報を入力する場合、まず、入力手段11に人材履歴情報の検索条件を入力する（ステップ103）。例えば、人材履歴情報の検索条件として、氏名を入力する。組織別人材育成計画を立案する場合には、人材履歴情報の検索条件として、計画を立案したい所属組織名と要求される技術名とを入力する。その検索条件に基づいて、履歴検索手段31は、履歴記憶手段21に記憶される人材履歴情報を検索し、その検索条件に対応する人材履歴情報を得る（ステップ104）。例えば、組織別人材育成計画の立案の場合には、組織に所属する全員の氏名と、各人の要求される技術に関する実績情報とが得られる。保有技術名を検索条件とすれば、人材履歴情報の検索により、多くの人材の中からその技術に関する計画に適した人材を捜し出すことができる。

【0030】履歴検索手段31が検索条件に対応する人材履歴情報を得ないときには、次順位読出手段34は、その検索条件の次の順位の検索条件を条件順位記憶手段24から読み出す（ステップ105）。履歴第2検索手段35は、次順位読出手段34により読み出された検索条件に基づいて、履歴記憶手段21に記憶される人材履歴情報を検索し、その検索条件に対応する人材履歴情報を得る（ステップ106）。

【0031】人材育成計画情報が既に入力されている場合には、計画読出手段32は、履歴検索手段31により得られた人材履歴情報に対応する人材育成計画情報を、計画記憶手段22から読み出す（ステップ107）。

【0032】判断手段33は、履歴記憶手段21に記憶される人材履歴情報のうち実績情報を、育成基準記憶手段23に記憶される人材育成基準情報と比較し、基準を越えるか、同等か、基準未満かを判断し、判断結果を得る（ステップ108）。

【0033】画像表示手段14は、判断手段33の判断結果を、履歴検索手段31または履歴第2検索手段35により検索された履歴情報および計画読出手段32により読み出された人材育成計画情報とともに同時に図表化して画像表示する（ステップ109）。図4に長期計画の、図5に短期計画の画像表示を示す。判断結果は、図4に示すように、基準未満の場合、太線41で、基準を越える場合、破線42で示される。図表化は、マッピング表示、統計表示、グラフ表示、バランスチャート表示などを選択することができる。人材育成計画情報は、長期計画と、短期計画と、組織別人材育成計画とがそれぞれ別画面に表示される。画面の表示は、プリンタ15で出力することができる。

【0034】人材育成計画を立案し、人材育成計画情報を入力する場合、画像表示手段14に表示される人材履歴情報と、その比較した判断結果を見ながら入力することができる。人材育成計画情報は、時系列で整列して表示されるようにする。長期計画と組織別人材育成計画と

の間に食い違いが見られる場合には、長期計画から個人名を逆に検索して、組織別人材育成計画に合わせて長期計画の人材育成計画情報を修正してもよい。

【0035】図3に示すように、人材履歴情報および人材育成計画情報の集計条件を表示したい場合には、入力手段11に人材履歴情報および人材育成計画情報の集計条件を入力する(ステップ201)。例えば、人材履歴情報および人材育成計画情報の集計条件として、「情報処理技術」を入力する。

【0036】人材履歴情報集計手段36は、入力された人材履歴情報の集計条件に基づいて、履歴記憶手段21に記憶される人材履歴情報を集計し、集計結果を得る。人材育成計画情報集計手段37は、入力された人材育成計画情報の集計条件に基づいて、計画記憶手段22に記憶される人材育成計画情報を集計し、集計結果を得る(ステップ202)。画像表示手段14は、人材履歴情報の集計結果および人材育成計画情報の集計結果を画像表示する(ステップ203)。図6に集計された組織別人材育成計画の画像表示を示す。また、図7に、特定の組織の人材育成計画のうち資格取得計画の画像表示を、図8に、特定の組織の人材育成計画のうち技術項目別計画の画像表示を示す。

【0037】次に、作用について説明する。この人材情報管理システムでは、予め、人材履歴情報と人材育成計画情報と人材育成基準情報とを入力しておけば、表示したい人材履歴情報の検索条件を入力することにより、対応する人材履歴情報と人材育成計画情報とを同時に画像表示することができる。同時に、人材履歴情報のうち実績情報が人材育成基準情報と比較して、基準を越えるか、同等か、基準未満かを画像表示することができる。人材育成計画情報は、人材履歴情報と、その比較した判断結果を見ながら入力することができる。また、人材履歴情報の検索により、多くの人材の中から計画に適した人材を捜し出すことができる。

【0038】人材履歴情報および人材育成計画情報は、図4および図5に示すように、図表化して同時に画像表示され、情報が見やすく把握しやすくなっている。従って、人材の履歴が組織として要求されるどのレベルにあるかを考慮しつつ、人材育成計画を容易に立案することができる。人材履歴情報は、リアルタイムに利用することができるようになっていく。

【0039】今日、経営計画を実現するための人材を育成するには、組織が求めるイメージを明確化し、それに対応した育成計画を立てることが重要となる。この人材情報管理システムを用いて人材育成計画を立案することにより、事業計画に基づく人材育成計画を立案することができ、人材のいかなる能力をいかに育成し、事業計画につなげていくかという経営の戦略課題を解決することができる。

【0040】また、予め、条件順位記憶手段24には、

人材履歴情報の検索条件をグループごとに優先順位を付けて記憶されている。表示したい人材履歴情報の検索条件を入力した場合、対応する人材履歴情報が得られないときには、その検索条件の次の順位の検索条件に対応する人材履歴情報と人材育成計画情報とを同時に画像表示することができる。このため、人材履歴情報の検索条件を再び入力する手間を省くことができ、計画に適した候補者の選定が容易となる。

【0041】また、この人材情報管理システムでは、表示したい人材履歴情報の集計条件および人材育成計画情報の集計条件を入力することにより、図6、図7および図8に示すように、対応する人材履歴情報の集計結果および人材育成計画情報の集計結果を画像表示することができる。このため、人材履歴情報および人材育成計画情報を俯瞰して、人材育成計画を広い視野から立案することができる。

【0042】集計条件を人材の所属組織別に設定すれば、単位組織の戦力をビジュアルに表示することができる。その他、人材履歴情報および人材育成計画情報を集計、統計作成、分析、加工して表示してもよい。例えば、人材履歴情報や人材育成計画情報から、人材の所属組織別の統計の作成や、人材の育成度分析、組織戦力分析、技術マップ作成、プロジェクト編成シミュレーションを行ってもよい。

【0043】なお、人材情報管理方法は、そのプログラムをフレキシブル・ディスクなどの記憶媒体に記憶させて用いることができ、パッケージソフトとして販売することができる。人材情報管理方法に用いる計算機システムには、一般のパーソナルコンピュータを使用することができる。

【0044】前記実施例では、実績情報を人材育成基準情報と比較した判断結果を太線と破線とで示す例をしめしているが、判断結果は色別や文字、点滅、その他の方法で表示してもよい。また、判断結果は、基準以上か、基準未満かに分けて表示してもよく、基準未満の場合のみを表示するようにしてもよい。

【0045】

【発明の効果】本発明に係る人材情報管理方法および人材情報管理システムによれば、人材履歴情報のうち実績情報を人材育成基準と比較した判断結果を、人材履歴情報および人材育成計画情報とともに同時に画像表示することができるので、人材の履歴が組織として要求されるどのレベルにあるかを考慮しつつ、人材育成計画を容易に立案することができる。

【0046】特に、請求項2の本発明に係る人材情報管理方法および請求項5の本発明に係る人材情報管理システムによれば、表示したい人材履歴情報の検索条件に対応する人材履歴情報が得られないときにも、その検索条件の次の順位の検索条件に対応する人材履歴情報と人材育成計画情報とを表示することができるので、人材履歴

情報の検索条件を再び入力する手間を省くことができる。

【0047】特に、請求項3の本発明に係る人材情報管理方法によれば、表示したい人材履歴情報の集計結果および人材育成計画情報の集計結果を画像表示することができるので、人材履歴情報および人材育成計画情報を俯瞰して、人材育成計画を広い視野から立案することができる。

【0048】請求項4の本発明に係る人材情報管理方法では、人材履歴情報および人材育成計画情報を図表化する
10 ことができるので、情報が見やすく、把握しやすくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の計算機システムのブロック図である。

【図2】本発明の一実施例の人材情報管理方法の検索処理のフローチャートである。

【図3】本発明の一実施例の人材情報管理方法の集計処理のフローチャートである。

【図4】本発明の一実施例の人材情報管理システムの長期計画の画像表示を示す正面図である。 20

【図5】本発明の一実施例の人材情報管理システムの短期計画の画像表示を示す正面図である。

【図6】本発明の一実施例の人材情報管理システムの組織別人材育成計画の画像表示を示す正面図である。 *

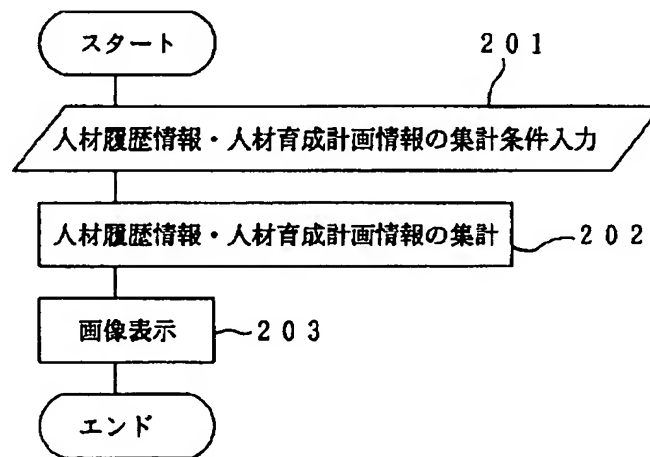
* 【図7】本発明の一実施例の人材情報管理システムの、特定の組織の人材育成計画のうち資格取得計画の画像表示を示す正面図である。

【図8】本発明の一実施例の人材情報管理システムの、特定の組織の人材育成計画のうち技術項目別計画の画像表示を示す正面図である。

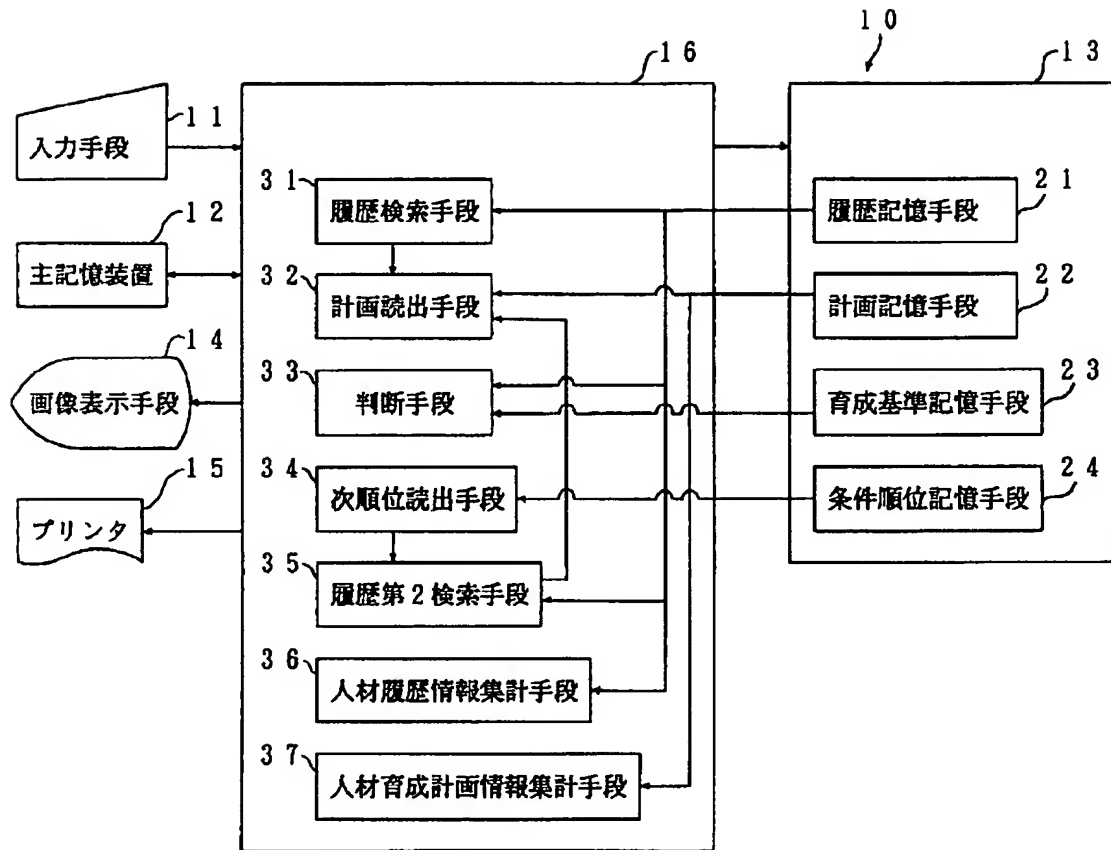
【符号の説明】

- 10 計算機システム
- 11 入力手段
- 12 主記憶装置
- 13 外部記憶装置
- 14 画像表示手段
- 16 制御手段
- 21 履歴記憶手段
- 22 計画記憶手段
- 23 育成基準記憶手段
- 24 条件順位記憶手段
- 31 履歴検索手段
- 32 計画読出手段
- 33 判断手段
- 34 次順位読出手段
- 35 履歴第2検索手段
- 36 人材履歴情報集計手段
- 37 人材育成計画情報集計手段

【図3】



【図1】



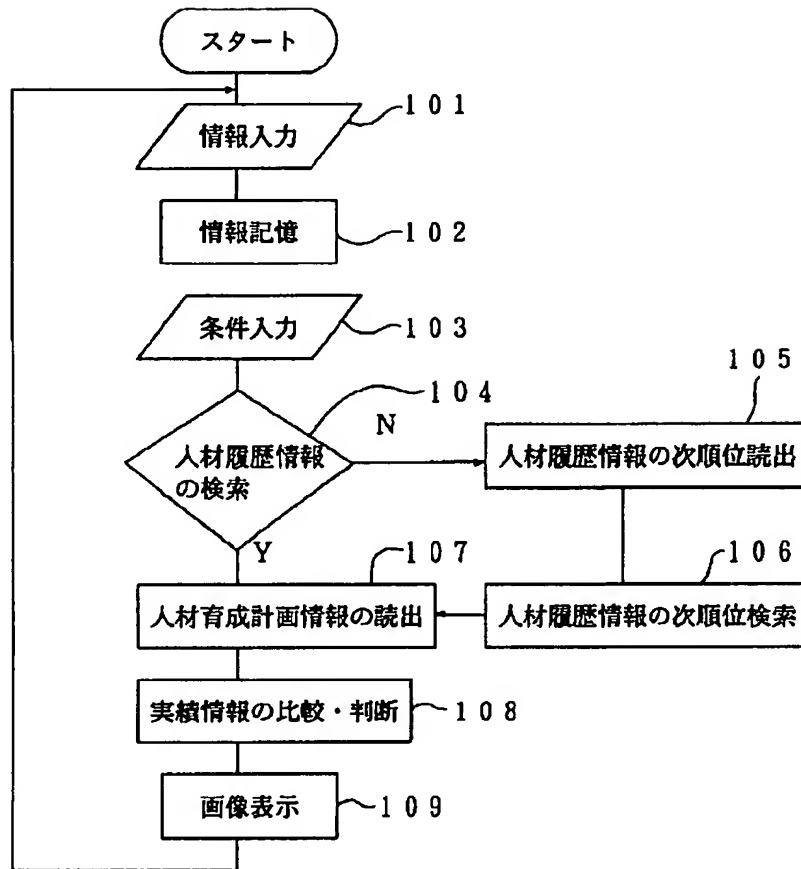
【図4】

長期計画											
氏名 ()				所属組織 ()							
年度				H 7			H 8			H 9	
技術レベル	標準	計画	実績	5	4	3	5	5	6	5	
情報処理	計画		実績	1種	2種		1種	2種		1種	
英語能力	計画		実績	C	F		C	E		C	

4 1

4 2

【図2】



【図5】

短期計画			
氏名 ()	所属組織 ()		
当年の業務目標		現時点	当年計画
()	技術レベル	3	4
育成方針	情報処理	2種	1種
()	英語能力	F	C

【図6】

組織別計画（該当技術レベル5以上）							
年度		H 7		H 8		H 9	
項目	現人員	現在	計画	現在	計画	現在	計画
第1課	5	5	6	5	7		
第2課	6	6	7	6	8		
第3課	7	7	8	7	9		

【図7】

第1課 資格取得 計画							
年度		H 7		H 8		H 9	
項目	現人員	現在	計画	現在	計画	現在	計画
情報処理2種	3	3	4		6		6
情報処理1種	1	1	2		3		4
中小企業診断士	0	0	1		1		2

【図8】

第1課 技術項目別 計画（該当技術レベル4以上）							
年度		H 7		H 8		H 9	
	現人員	現在	計画	現在	計画	現在	計画
システム設計	2	2	3		4		6
プログラム設計	3	2	2		4		3
DB設計	1	1	2		3		3